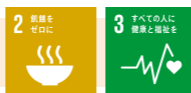


社会への取り組み

重点課題 食と健康への貢献

健康寿命延伸への貢献



子どものうちから健全な食習慣を身につけることを促すとともに、成人期、高齢期それぞれの世代に合わせた豊かで健康的な食生活を提案をすることで、健康寿命延伸に貢献していきます。

国内の取り組み

サラダとタマゴでバランスの良い食生活をサポート

●食と健康に関する情報発信

2020年11月に、「健康応援BOOK」を作成しました。サラダとタマゴに着目して、栄養バランスに関する課題と解決方法を提案し、日々の食事にとりいれやすい内容にしています。

健康応援BOOK ▶ <https://www.kewpie.com/education/information/health-support/>

●健康的なメニュー提案

野菜にはビタミンやミネラル、食物繊維が含まれ、卵にはたんぱく質を中心に体に必要なほとんどの栄養素が含まれています。2つの食材をバランスよく食生活に取り入れて、おいしく、楽しく食べられるようなメニューを提案しています。

サラダストック特設サイト ▶ <https://www.kewpie.co.jp/kantan/saladstock/>

●卵の魅力を発信

2013年から実施している「マヨスター」社内認定制度に続いて、2019年からは「たまごスター」社内認定制度を設け、卵の魅力を語ることができる従業員の育成を進めてきました。さらに、卵の魅力をお伝えする「たまご教室」を新たに開始し、たまごスターから情報を発信しています。



たまごスターによるオンラインたまご教室の様子

Topics がんリスクの早期発見に向けた研究

血液中の成分からがんの発症リスクを予測する研究を進めています。将来的には、研究成果を活用して、食生活の改善提案や新商品開発につなげたいと考えています。



生涯健康に過ごせるように、私たちはメカニズムを解き明かし、「食」の力でリスクを低減する方法を提案していきたいと考えています。皆様の健康に貢献することをめざし、研究を進めています。

キューピー株式会社 研究開発本部
栗城 大輔

海外の取り組み

サラダの魅力を発信

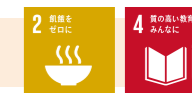
中国では、上海市食品学会公認の「食・健康研究会」を通して、日本も含めて蓄積してきた学術情報を活用しながら、サラダのおいしさとその健康価値の認知拡大によって、中国でのサラダの喫食機会を創出していくことを目的に活動しています。

野菜売り場では、野菜の健康機能を啓発しながら、サラダに注目していただく活動を開始しており、この活動は上海を起点として中国全土へ拡大していきます。



野菜摂取の啓発活動の様子(上海)

子どもの心と体の健康支援



「食」には体をつくる、体の調子を整えるなど、栄養面だけではなく、健全な心を育む力があります。様々な活動を通じて食べることの大切さや楽しさを伝えることで子どもたちの生きる力、考える力を支援していきます。

オンラインによる社会科見学や子育て支援プログラムの開始

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの生活様式が大きく変化する中で、オンラインでのコミュニケーションを充実させています。

●オンライン社会科見学

小学校と各工場をつないでマヨネーズやドレッシングなどの製造工程や品質を守る工夫を紹介し、従業員との交流を行います。参加した生徒からは「楽しいだけでなく、驚きや新たな発見があった」との声をいただいています。

●オンライン離乳食教室

離乳期の食の不安、負担の解消と親子のコミュニケーションを増やすことを目的として、オンラインでの離乳食教室を開催しています。離乳食に関する説明の後、育児食の担当者と相談できる時間を設けています。



オンライン社会科見学の様子



遠く離れたお客様ともオンラインでつながり、離乳食を始める不安や疑問を少しでも解消するお手伝いができて嬉しいです。参加者の悩みや意見を商品開発に活かせるよう、研究開発部門とも連動していきます。

鳥栖キューピー株式会社
山川 華奈



ベビーフード製造の様子をオンライン配信

Topics 公益財団法人 キューピーみらいたまご財団を通じた支援

2017年4月にキューピーみらいたまご財団を設立し、食育活動や子どもの貧困対策などに取り組む団体への寄付を中心とした活動を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで以上に生活困窮に陥っている子どもたちを支える「居場所づくり支援」の活動団体に「新型コロナ禍特別対応」の緊急助成を実施しました。また、子ども食堂には、キューピー、アヲハタから提供された商品や米を財団を通じて寄贈しました。

これからも子どもの笑顔をサポートする活動に取り組んでいきます。



財団を通じて沖縄の子ども食堂へ米を寄贈

現地に根づいた食育活動

マレーシアでは、小学生を対象に野菜を使ったサンドイッチ教室を継続的に開催し、栄養バランスのよい食事をとることの大切さを伝える活動を行っています。

中国2社(北京、杭州)でも日本と同じように工場見学を実施しています。商品がどのように生産されているのかお客様の目を見ていただくことができ、商品をご理解いただき、安心をお届けする最良の機会と考えています。



サンドイッチ教室の様子(マレーシア)